

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2012年2月16日(16.02.2012)

(10) 国際公開番号
WO 2012/020751 A1

PCT

- (51) 国際特許分類:
G06F 3/048 (2006.01) H04M 1/00 (2006.01)
G06F 3/023 (2006.01) H04M 1/247 (2006.01)
G06F 3/041 (2006.01) H04M 1/725 (2006.01)
H03M 11/04 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2011/068119
- (22) 国際出願日: 2011年8月9日(09.08.2011)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2010-180640 2010年8月11日(11.08.2010) JP
- (71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): 京セラ株式会社(KYOCERA Corporation) [JP/JP]; 〒6128501 京都府京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地 Kyoto (JP).
- (72) 発明者: および
- (75) 発明者/出願人(米国についてのみ): 岩下 太士(IWASHITA, Futoshi) [JP/JP]; 〒2248502 神奈川県横浜市都筑区加賀原2丁目1番1号 京セラ株式会社 横浜事業所内 Kanagawa (JP).
- (74) 代理人: 正林 真之, 外(SHOBAYASHI, Masayuki et al.); 〒1000005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー Tokyo (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア(AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

[続葉有]

(54) Title: ELECTRONIC DEVICE AND METHOD FOR CONTROLLING SAME

(54) 発明の名称: 電子機器及びその制御方法

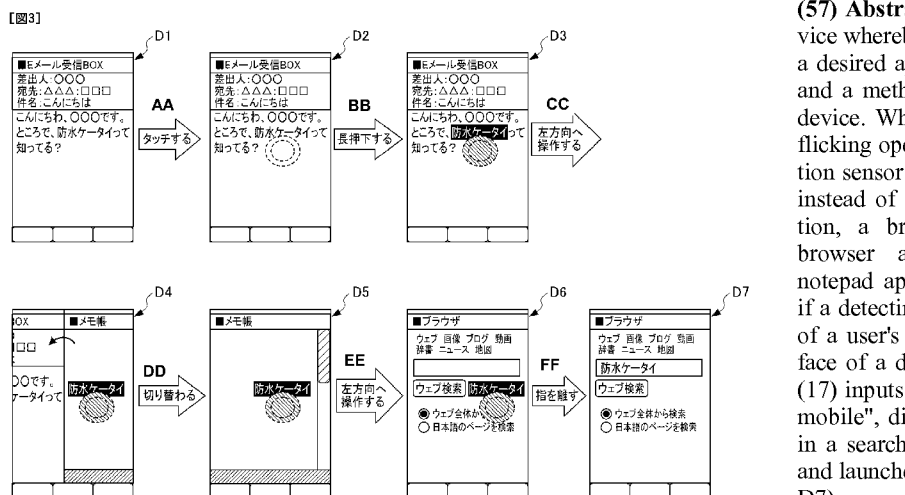


FIG. 3:
AA TOUCH
BB PRESS AND HOLD
CC FLICK LEFTWARD
DD SWITCH
EE FLICK LEFTWARD
FF LIFT FINGER

(57) Abstract: Provided is an electronic device whereby input characters can be used in a desired application by a simple operation, and a method for controlling the electronic device. While on screen (D5), if a leftward flicking operation is detected again by a motion sensor (18), a control unit (17) displays, instead of the screen of a notepad application, a browser application screen of a browser application different from the notepad application. While on screen (D6), if a detecting unit (12) detects the operation of a user's finger being lifted from the surface of a display unit (11), the control unit (17) inputs the input characters "water-proof mobile", displayed on the display unit (11), in a search box on the browser application and launches the browser application (screen D7).

(57) 要約: 簡易な操作により入力された文字を所望のアプリケーションに利用することが可能な電子機器及びその制御方法を提供すること。画面D5において、制御部17は、再度左方向に向かって振る操作がモーションセンサ18により検出さ

れると、メモ帳アプリケーションの画面に代えて複数のアプリケーションのうち、メモ帳アプリケーションとは異なるブラウザアプリケーションに対応するブラウザアプリケーションの画面を表示させる。画面D6において、制御部17は、検出部12によりユーザの指を表示部11の表面から離す操作が検出された場合に、表示部11に表示されている入力文字「防水ケータイ」を、ブラウザアプリケーションの画面内の検索窓に入力させて、ブラウザアプリケーションを起動させる(画面D7)。



添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

明 細 書

発明の名称： 電子機器及びその制御方法

技術分野

[0001] 本発明は、電子機器及びその制御方法に関する。

背景技術

[0002] 従来、表示部と操作部とを有する電子機器は、表示部に待ち受け画面が表示されている状態で操作部を操作すると、操作部に割り当てられている文字を入力して、表示部に表示する。そして、電子機器は、入力された文字が表示部に表示された状態で複数のアプリケーションのメニューの中から所望のアプリケーションを選択することにより、表示された文字を入力した状態で選択したアプリケーションを起動させていた（例えば、特許文献 1 参照）。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：特開 2 0 0 7 - 2 0 0 2 4 3 号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] しかし、特許文献 1 に記載の電子機器では、所望のアプリケーションを起動させる場合に、ユーザが複数のアプリケーションのメニューの中から一のアプリケーションを選択する必要があり、複数の操作が必要であった。

[0005] 本発明は、簡易な操作により入力された文字を所望のアプリケーションに利用することが可能な電子機器及びその制御方法を提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0006] 本発明に係る電子機器は、上記課題を解決するために、文字入力可能な複数の機能それぞれに対応する画像を表示する表示部と、前記複数の機能のうち第 1 の機能に対応する第 1 の画像が表示又は選択された状態で第 1 の操作が検出されると、前記第 1 の画像に代えて前記複数の機能のうち前記第 1 の

機能とは異なる第２の機能に対応する第２の画像を表示又は選択させる制御部と、を備え、前記制御部は、前記第２の画像が表示又は選択された状態において、前記第１の操作とは異なる第２の操作が検出される、又は操作が検出されない状態が所定時間以上継続した場合に、入力文字を入力させた状態で前記第２の機能を起動させる。

[0007] また、前記電子機器は、操作部をさらに備え、前記入力文字は、前記第１の画像が表示又は選択される直前に前記表示部に表示された文字であることが好ましい。

[0008] また、前記制御部は、前記第１の画像として前記第１の機能の起動に対応する第１の画面が前記表示部に表示された状態で前記第１の操作が検出されると、前記第２の画像として前記第２の機能の起動に対応する第２の画面を前記表示部に表示させ、前記第２の画面が表示された状態において、前記第２の操作が検出される、又は操作が検出されない状態が前記所定時間以上継続した場合に、前記入力文字を入力させた状態で前記第２の機能を起動させることが好ましい。

[0009] また、前記制御部は、前記第１の画像として前記第１の機能を起動させるための第１のアイコンが選択された状態で前記第１の操作が検出されると、前記第２の画像として前記第２の機能を起動させるための第２のアイコンを選択させ、前記第２のアイコンが選択された状態において、前記第２の操作が検出される、又は操作が検出されない状態が前記所定時間以上継続した場合に、前記入力文字を入力させた状態で前記第２の機能を起動させることが好ましい。

[0010] また、前記制御部は、前記第２の画像が表示又は選択された状態において、前記第２の操作が検出される、又は操作が検出されない状態が前記所定時間以上継続した場合にのみ、前記第２の機能を起動させることが好ましい。

[0011] また、前記第１の操作は、電子機器本体を所定方向に向かって振る操作であり、前記制御部は、前記電子機器本体が振られた方向に応じて、前記第１の画像及び前記第２の画像を前記表示部に表示させる順序を変更させること

が好ましい。

[0012] また、前記第 1 の操作は、前記表示部を摺動する操作であり、前記制御部は、前記表示部が摺動された方向に応じて、前記第 1 の画像及び前記第 2 の画像を前記表示部に表示させる順序を変更させることが好ましい。

[0013] また、前記操作部は、一のキーに対して文字及び数字が割り当てられている複数の操作キーを備え、前記制御部は、前記表示部に待ち受け画面が表示された状態において、前記複数の操作キーのうちいずれかの操作キーが操作されると、当該操作キーに割り当てられる前記文字及び前記数字をそれぞれ入力して前記表示部に表示させ、表示させた前記文字又は前記数字のいずれを前記入力文字として入力させるかに応じて、前記第 1 の画像及び前記第 2 の画像を前記表示部に表示させる順序を変更させることが好ましい。

[0014] 本発明に係る電子機器の制御方法は、上記課題を解決するために、複数の機能のうち第 1 の機能に対応する第 1 の画像を表示又は選択させるステップと、第 1 の操作が検出されると、前記第 1 の画像に代えて前記複数の機能のうち前記第 1 の機能とは異なる第 2 の機能に対応する第 2 の画像を表示又は選択させるステップと、前記第 2 の画像が表示又は選択された状態において、前記第 1 の操作とは異なる第 2 の操作が検出される、又は操作が検出されない状態が所定時間以上継続した場合に、入力文字を入力させた状態で前記第 2 の機能を起動させるステップとを備える。

発明の効果

[0015] 本発明によれば、簡易な操作により入力された文字を所望のアプリケーションに利用することが可能な電子機器及びその制御方法を提供することができる。

図面の簡単な説明

[0016] [図1]実施形態に係る携帯電話機の外観斜視図である。

[図2]実施形態に係る携帯電話機の機能構成を示すブロック図である。

[図3]第 1 実施形態に係る表示部に表示される画面遷移例を示す図である。

[図4]図 3 に示す例の内部処理について示すフローチャート（1）である。

[図5]図3に示す例の内部処理について示すフローチャート（2）である。

[図6]第2実施形態に係る表示部に表示される画面遷移例を示す図である。

[図7]図6に示す例の内部処理について示すフローチャート（1）である。

[図8]図6に示す例の内部処理について示すフローチャート（2）である。

[図9]第3実施形態に係る表示部に表示される画面遷移例を示す図である。

[図10]図9に示す例の内部処理について示すフローチャートである。

発明を実施するための形態

[0017] 本発明の実施の形態を説明する。まず、本発明の電子機器の実施形態に係る携帯電話機1の基本構造を、図1を参照しながら説明する。図1は、実施形態に係る携帯電話機1の外観斜視図である。

[0018] 携帯電話機1は、筐体2を有する。筐体2は、タッチパネル10（操作部）と、マイク13と、スピーカ14とを有する。

[0019] タッチパネル10は、表示部11と、検出部12とを有する（図2参照）。表示部11は、液晶表示パネル又は有機EL（エレクトロルミネッセンス）表示パネル等である。検出部12は、表示部11に対する携帯電話機1のユーザの指やタッチペン等の物体の接触を検出するセンサである。検出部12には、表示部11の表面に対応して配され、例えば、静電容量方式や抵抗膜方式等のセンサが利用可能である。

[0020] マイク13は、携帯電話機1のユーザが通話時に発した音声を入力するために用いられる。

スピーカ14は、携帯電話機1のユーザの通話相手が発した音声を入力するために用いられる。

[0021] 続いて、図2を参照しながら、本発明の実施形態に係る携帯電話機1の機能構成を説明する。図2は、実施形態に係る携帯電話機1の機能構成を示すブロック図である。

[0022] 携帯電話機1は、上述した、タッチパネル10（表示部11及び検出部12）と、マイク13と、スピーカ14とを有する。また、携帯電話機1は、通信部15と、記憶部16と、制御部17と、モーションセンサ18と、操

作部 19 と、を有する。

[0023] 通信部 15 は、メインアンテナ（図示省略）と RF 回路部（図示省略）とを有し、所定の連絡先に発信したり、通信したりする。通信部 15 が発信する連絡先は、例えば、警察や消防といった緊急連絡先である。また、通信部 15 が通信を行う通信先は、携帯電話機 1 と電話やメールの送受信を行う外部装置や、携帯電話機 1 がインターネットの接続を行う外部の web サーバ等の外部装置等である。

[0024] 通信部 15 は、所定の使用周波数帯で外部装置と通信を行う。具体的には、通信部 15 は、上記のメインアンテナによって受信した信号を復調処理し、処理後の信号を制御部 17 に供給する。また、通信部 15 は、制御部 17 から供給された信号を変調処理し、上記のメインアンテナを介して外部装置（基地局）に送信する。

[0025] 記憶部 16 は、例えば、ワーキングメモリを含み、制御部 17 による演算処理に利用される。また、記憶部 16 は、携帯電話機 1 の内部で動作するアプリケーションやデータベースを 1 又は複数記憶する。なお、記憶部 16 は、着脱可能な外部メモリを兼ねていてもよい。

[0026] 制御部 17 は、携帯電話機 1 の全体を制御しており、表示部 11 及び通信部 15 に対して制御を行う。

モーションセンサ 18 は、加速度センサ、ジャイロセンサ、地磁気センサ等のいずれか又はこれらを組み合わせて構成される。モーションセンサ 18 は、携帯電話機 1 の位置や、方向、動き等の変位を検出して、制御部 17 に送信する。

[0027] 操作部 19 は、複数の態様による操作を検出することができる。例えば、操作部 19 は、タッチパネル 10 上に表示される仮想的なキー（ソフトウェアキー）でもよく、筐体 2 に別途配置され、文字、数字、記号等が割り当てられている物理的なキーであってもよい。例えば、操作部 19 がタッチパネル 10 上に表示される仮想的なキーである場合に、操作部 19 は、接触操作や摺動操作といった複数の態様による操作を検出することができる。

[0028] <第 1 実施形態>

第 1 実施形態に係る携帯電話機 1 は、表示部 11 に表示されている文字を利用してアプリケーションを起動させる機能を有している。以下、当該機能を実行させるための構成について説明する。

[0029] 図 3 は、第 1 実施形態に係る表示部 11 に表示される画面遷移例を示す図である。

図 3 の画面 D1 において、制御部 17 は、電子メールアプリケーションにより受信メールを表示部 11 に表示させている。すなわち、制御部 17 は、電子メールアプリケーションにより複数の文字を表示させている。

なお、本明細書において文字とは、平仮名文字、片仮名文字、漢字だけでなく、数字、英字、記号も含む。また、文字とは、一の文字だけでなく、文字列も含む。また、数字とは、数字だけでなく、電話発信に用いる文字（P（ポーズ）、-（ハイフン）、*（アスタリスク）、#（シャープ）等）も含む。また、数字とは、一の数字だけでなく、数字列も含む。

[0030] 画面 D1 において、すなわち、表示部 11 に文字が表示された状態において、制御部 17 は、画面 D1 に表示されている文字のうち文字「防水ケータイ」に対する接触（長押下）が検出部 12 により検出されたこと（画面 D2）に応じて、入力文字「防水ケータイ」が選択される。表示部 11 において選択された文字は、反転表示される（画面 D3）。

[0031] また、制御部 17 は、入力文字「防水ケータイ」が選択されたことに応じて、入力される文字を編集するアプリケーション A を起動する処理を行う。

[0032] 画面 D3 において、制御部 17 は、携帯電話機 1 の本体を、表示部 11 を正面から見た場合における左方向に向かって振る操作（第 1 の操作）がモーションセンサ 18 により検出されると、記憶部 16 に記憶されている複数のアプリケーション（複数の機能）のうちメモ帳アプリケーション（第 1 の機能）に対応するメモ帳アプリケーションの画面（第 1 の画像）を表示させる（画面 D4 及び D5）。

[0033] より詳細には、制御部 17 は、携帯電話機 1 の本体を左方向に向かって振

る操作がモーションセンサ 18 により検出されると、電子メールアプリケーションの画面からメモ帳アプリケーションの起動に対応するメモ帳アプリケーションの初期画面に切り替わり（画面 D4）、メモ帳アプリケーションの初期画面を表示部 11 に表示させる（画面 D5）。

[0034] 画面 D5 において、制御部 17 は、画面 D3 において入力文字「防水ケータイ」が選択されている状態を継続し、かつ、選択されている入力文字「防水ケータイ」のみを表示部 11 に表示させる。また、画面 D5 において、制御部 17 は、入力文字「防水ケータイ」が選択されている状態が継続している場合に、メモ帳アプリケーションを起動させず、メモ帳アプリケーションの初期画面のみを表示部 11 に表示させてもよく、また、メモ帳アプリケーションを起動させて、メモ帳アプリケーションの初期画面を表示部 11 に表示させてもよい。

[0035] 続いて、画面 D5 において、制御部 17 は、再度左方向に向かって振る操作がモーションセンサ 18 により検出されると、メモ帳アプリケーションの初期画面に代えて複数のアプリケーションのうち、メモ帳アプリケーションとは異なるブラウザアプリケーションに対応するブラウザアプリケーションの初期画面（第 2 の画像）を表示させる（画面 D6）。

[0036] より詳細には、制御部 17 は、再度左方向に向かって振る操作がモーションセンサ 18 により検出されると、メモ帳アプリケーションの初期画面からブラウザアプリケーションの起動に対応するブラウザアプリケーションの初期画面に切り替わり、ブラウザアプリケーションの初期画面を表示部 11 に表示させる（画面 D6）。

[0037] 画面 D6 において、制御部 17 は、画面 D3 において入力文字「防水ケータイ」が選択されている状態を継続し、かつ、選択されている入力文字「防水ケータイ」のみを表示部 11 に表示させる。また、画面 D6 において、制御部 17 は、入力文字「防水ケータイ」が選択されている状態が継続している場合に、ブラウザアプリケーションを起動させず、ブラウザアプリケーションの初期画面のみを表示部 11 に表示させてもよく、ブラウザアプリケー

ションを起動させて、ブラウザアプリケーションの初期画面を表示部 11 に表示させてもよい。

[0038] 続いて、画面 D6 において、制御部 17 は、ユーザの指による入力文字「防水ケータイ」に対する接触の解除が検出部 12 により検出されたこと、すなわち、検出部 12 によりユーザの指を表示部 11 の表面から離す操作（第 2 の操作）が検出された場合に、表示部 11 に表示されている入力文字「防水ケータイ」を、ブラウザアプリケーションの初期画面内の検索窓に入力させて、ブラウザアプリケーションを起動させる（画面 D7）。

[0039] また、画面 D6 において、制御部 17 は、検出部 12 によりユーザの指を表示部 11 の表面から離す操作（第 2 の操作）が検出されたことに代えて、操作が検出されない状態が所定時間以上継続した場合に、表示部 11 に表示されている入力文字「防水ケータイ」を、ブラウザアプリケーションの初期画面内の検索窓に入力させて、ブラウザアプリケーションを起動させてもよい（画面 D7）。

[0040] このように、第 1 実施形態によれば、携帯電話機 1 は、電子メールアプリケーションからメモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションの初期画面に切り替えて、表示部 11 に入力された文字をメモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションに入力させた状態で起動させることができる。したがって、携帯電話機 1 は、表示部 11 に入力された文字を所望の機能を実行するアプリケーションにおいて容易に利用することができる。

[0041] また、携帯電話機 1 において、入力文字は、表示部 11 に表示されている文字のうち、操作部 19 による操作に応じて、選択された文字であってもよい。これにより、携帯電話機 1 は、入力文字が操作部 19 による操作に応じて選択された文字であるため、選択された入力文字を所望のアプリケーションにおいて容易に利用することができ、携帯電話機 1 の操作性を向上させることができる。

[0042] また、制御部 17 は、メモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションの初期画面が表示された状態において、検出部 12 によりユーザの指を

表示部 11 の表面から離す操作が検出される、又は操作が検出されない状態が所定時間以上継続した場合に、入力文字を入力させた状態で、表示部 11 に表示されているメモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションの初期画面に対応するメモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションを起動させる。

[0043] すなわち、携帯電話機 1 は、携帯電話機 1 の本体を左方向に向かって振る操作が検出されると、電子メールアプリケーションの画面からメモ帳アプリケーションの初期画面に切り替わり、ユーザの指を表示部 11 の表面から離す操作が検出される、又は操作が検出されない状態が所定時間以上継続すると、メモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションの初期画面に対応するメモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションを起動させる。これにより、携帯電話機 1 は、直感的な操作によって所望のアプリケーションに文字を入力させた状態で起動させることができる。

[0044] また、制御部 17 は、メモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションの初期画面が表示された状態において、ユーザの指を表示部 11 の表面から離す操作が検出される、又は操作が検出されない状態が所定時間以上継続した場合にのみ、表示部 11 に表示されている文字を入力文字として入力させて、メモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションを起動させてもよい。これにより、携帯電話機 1 は、ユーザの指を表示部 11 の表面から離す操作が検出される、又は操作が検出されない状態が所定時間以上継続した場合以外には、メモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションを起動させないため、ユーザが意図しないアプリケーションを起動させてしまうことを防止することができる。

[0045] また、制御部 17 は、携帯電話機 1 本体が振られた方向に応じて、電子メールアプリケーション、メモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションの初期画面を表示部 11 に表示させる順序を変更させてもよい。

[0046] 具体的には、制御部 17 は、携帯電話機 1 の本体が左方向に向かって振られることがモーションセンサ 18 により検出されるごとに、初期画面（待ち

受け画面) →メモ帳アプリケーション→ブラウザアプリケーション→スケジュールアプリケーション→電子メールアプリケーション→初期画面(待ち受け画面)・・・の順序で表示部11に表示させるアプリケーションの初期画面を切り替える。

[0047] 一方、制御部17は、携帯電話機1の本体が右方向に向かって振られることがモーションセンサ18により検出されるごとに、初期画面(待ち受け画面) →電子メールアプリケーション→スケジュールアプリケーション→ブラウザアプリケーション→メモ帳アプリケーション→初期画面(待ち受け画面)・・・の順序、つまり、左方向に向かって振られた場合とは反対の順序で表示部11に表示させるアプリケーションの初期画面を切り替える。

[0048] このように携帯電話機1は、携帯電話機1本体が振られた方向に応じて、電子メールアプリケーション、メモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションの画面を表示部11に表示させる順序を変更させるため、直感的な操作によって電子メールアプリケーション、メモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションの画面の表示を切り替えることができる。

[0049] また、制御部17は、表示部11が摺動された方向に応じて、電子メールアプリケーション、メモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションの画面を表示部11に表示させる順序を変更させてもよい。

[0050] 具体的には、制御部17は、タッチパネル10の表面が左方向に向かって摺動されたことが検出部12により検出されるごとに、初期画面(待ち受け画面) →メモ帳アプリケーション→ブラウザアプリケーション→スケジュールアプリケーション→電子メールアプリケーション→初期画面(待ち受け画面)・・・の順序で表示部11に表示させるアプリケーションの初期画面を切り替える。

[0051] 一方、制御部17は、タッチパネル10の表面が右方向に向かって摺動されたことが検出部12により検出されるごとに、初期画面(待ち受け画面) →電子メールアプリケーション→スケジュールアプリケーション→ブラウザアプリケーション→メモ帳アプリケーション→初期画面(待ち受け画面)・

・ ・ の順序、つまり、左方向に向かって摺動された場合とは反対の順序で表示部 1 1 に表示させるアプリケーションの初期画面を切り替える。

また、検出部 1 2 により検出される摺動は、ごく短い期間の摺動（いわゆるフリック）でもよく、一定時間以上継続する摺動（いわゆるスワイプ）でもよい。又は、摺動操作ではなく、単にタッチパネル 1 0 の表面に接触する操作、すなわち、タッチ操作でもよい。

[0052] このように携帯電話機 1 は、表示部 1 1 が摺動された方向又は表示部 1 1 への接触回数に応じて、第 1 の画像及び第 2 の画像を前記表示部に表示させる順序を変更させるため、直感的な操作によって電子メールアプリケーション、メモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションの初期画面を切り替えることができる。

[0053] 図 4 及び図 5 は、図 3 に示す例の内部処理について示すフローチャートである。なお、文字入力可能なアプリケーションにより文字が表示部 1 1 に表示されていることを前提とする。

ステップ S 1 において、制御部 1 7 は、検出部 1 2 により表示部 1 1 に対するユーザの指による接触が検出されたか否かを判定する。接触が検出された場合（YES）には、ステップ S 2 へ進む。接触が検出されない場合（NO）には、再度ステップ S 1 の処理を繰り返す。

[0054] ステップ S 2 において、制御部 1 7 は、検出部 1 2 により接触が検出された箇所にアイコンが表示されているか否かを判定する。接触が検出された箇所にアイコンが表示されている場合（YES）には、ステップ S 3 へ進む。接触が検出された箇所にアイコンが表示されていない場合（NO）には、ステップ S 4 へ進む。

[0055] ステップ S 3 において、制御部 1 7 は、ステップ S 2 において接触が検出された箇所に表示されているアイコンに対応付けられている機能を実行し、処理を終了する。

ステップ S 4 において、制御部 1 7 は、長押しタイマーを起動して、時間の計測を開始する。

[0056] ステップS 5において、制御部 1 7は、検出部 1 2により検出される表示部 1 1に対する接触が一定時間継続したか否か、すなわち、長押しタイマーが満了したか否かを判定する。長押しタイマーが満了した場合（Y E S）には、ステップS 6へ進む。長押しタイマーが満了しない場合（N O）には、再度ステップS 5の処理を繰り返す。

[0057] ステップS 6において、制御部 1 7は、長押し検出フラグを「T R U E」に設定する。

ステップS 7において、制御部 1 7は、長押しタイマーを停止する。

ステップS 8において、制御部 1 7は、表示部 1 1において長押しが検出された箇所に文字が表示されているか否かを判定する。文字が表示されている場合（Y E S）には、ステップS 9へ進む。文字が表示されていない場合（N O）には、処理を終了する。

[0058] ステップS 9において、制御部 1 7は、文章単位（又は単語単位、文字単位）で選択される文字を決定し、選択される文字を反転表示させる。

[0059] ステップS 1 0において、制御部 1 7は、モーションセンサ 1 8により携帯電話機 1 の本体を振る操作が検出されたか否かを判定する。携帯電話機 1 の本体を振る操作が検出された場合（Y E S）には、ステップS 1 1へ進む。携帯電話機 1 の本体を振る操作が検出されない場合（N O）には、再度ステップS 1 0の処理を繰り返す。なお、ステップS 1 0において、制御部 1 7は、携帯電話機 1 の本体を振る操作に代えて、モーションセンサ 1 8及び操作部 1 9により操作が検出されない状態が所定期間以上継続した場合を条件としてもよい。

[0060] ステップS 1 1において、制御部 1 7は、文字を編集するアプリケーションAが起動中であるか否かを判定する。アプリケーションAが起動中である場合（Y E S）には、ステップS 1 3へ進む。アプリケーションAが起動中でない場合（N O）には、ステップS 1 2へ進む。

[0061] ステップS 1 2において、制御部 1 7は、記憶部 1 6に記憶されているアプリケーションAを起動させる。

ステップS 1 3において、制御部 1 7は、携帯電話機 1の本体が振られた方向がいずれの方向に向かって振られたか判定する。左方向に向かって振られた場合には、ステップS 1 4へ進む。右方向に向かって振られた場合には、ステップS 1 5へ進む。左又は右方向以外の方向に向かって振られた場合には、処理を終了する。

[0062] ステップS 1 4において、制御部 1 7は、表示部 1 1に表示させるアプリケーションの初期画面を選択する。ここで、制御部 1 7は、携帯電話機 1の本体が左方向に向かって振られることがモーションセンサ 1 8により検出されるごとに、初期画面（待ち受け画面）→メモ帳アプリケーション→ブラウザアプリケーション→スケジュールアプリケーション→電子メールアプリケーション→初期画面（待ち受け画面）・・・の順序で表示部 1 1に表示させるアプリケーションの初期画面を切り替える。

[0063] ステップS 1 5において、制御部 1 7は、表示部 1 1に表示させるアプリケーションの初期画面を選択する。ここで、制御部 1 7は、携帯電話機 1の本体が右方向に向かって振られることがモーションセンサ 1 8により検出されるごとに、初期画面（待ち受け画面）→電子メールアプリケーション→スケジュールアプリケーション→ブラウザアプリケーション→メモ帳アプリケーション→初期画面（待ち受け画面）・・・の順序、つまり、ステップS 1 4とは反対の順序で表示部 1 1に表示させるアプリケーションの初期画面を切り替える。

[0064] ステップS 1 6において、制御部 1 7は、ステップS 1 4又はステップS 1 5において選択されたアプリケーションの初期画面を表示部 1 1に表示させる（図3の画面D 5又はD 6）。

ステップS 1 7において、制御部 1 7は、検出部 1 2によりユーザの指を表示部 1 1の表面から離す操作（接触を解除する操作）が検出されたか否かを判定する。接触を解除する操作が検出された場合（YES）には、ステップS 1 8へ進む。接触を解除する操作が検出されない場合（NO）には、再度ステップS 1 7の処理を繰り返す。

[0065] ステップS 1 8において、制御部 1 7は、長押し検出フラグを「F A L S E」に設定する。

ステップS 1 9において、制御部 1 7は、表示部 1 1に表示されている入力文字を、選択されたアプリケーションの初期画面内に入力させて、選択されたアプリケーションを起動させる（図 3 の画面 D 7）。

[0066] このように携帯電話機 1 は、選択されたアプリケーションの初期画面を切り替え、表示部 1 1に入力された文字を選択されたアプリケーションの初期画面に入力させた状態で起動させることができる。したがって、携帯電話機 1 は、表示部 1 1に入力された文字を所望の機能を実行するアプリケーションにおいて容易に利用することができる。

[0067] 次に、本発明の電子機器に係る第 2 の実施形態について説明する。第 2 の実施形態については、主として、第 1 実施形態とは異なる点を説明し、第 1 実施形態と同様の構成について同一符号を付し、説明を省略する。第 2 の実施形態について特に説明しない点については、第 1 実施形態についての説明が適宜適用される。

[0068] <第 2 実施形態>

第 2 実施形態に係る携帯電話機 1 は、電子メールアプリケーション、メモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションの初期画面に代えて、電子メールアプリケーション、メモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションを起動させるためのアイコンを表示部 1 1に表示させる点が第 1 実施形態とは異なる。

[0069] 図 6 は、第 2 実施形態に係る表示部 1 1に表示される画面遷移例を示す図である。

図 6 の画面 D 1 1において、制御部 1 7は、電子メールアプリケーションにより受信メールを表示部 1 1に表示させている。すなわち、制御部 1 7は、電子メールアプリケーションにより複数の文字を表示させている。

[0070] 画面 D 1 1において、すなわち、表示部 1 1に文字が表示された状態において、制御部 1 7は、画面 D 1 1に表示されている文字のうち文字「防水ケ

ータイ」に対する接触（長押下）が検出部１２により検出されたこと（画面Ｄ１２）に応じて、入力文字「防水ケータイ」が選択される。表示部１１において選択された文字は、反転表示される（画面Ｄ１３）。

[0071] また、制御部１７は、入力文字「防水ケータイ」が選択されたことに応じて、入力される文字を編集するアプリケーションＡを起動する処理を行う。

[0072] 画面Ｄ１３において、制御部１７は、携帯電話機１の本体を、表示部１１を正面から見た場合における左方向に向かって振る操作（第１の操作）がモーションセンサ１８により検出されると、記憶部１６に記憶されている複数のアプリケーション（複数の機能）それぞれに対応するアイコンのうちメモ帳アプリケーション（第１の機能）に対応するメモ帳アプリケーションのアイコンＡ１（第１の画像）を選択させる（画面Ｄ１４）。

[0073] より詳細には、制御部１７は、携帯電話機１の本体を左方向に向かって振る操作がモーションセンサ１８により検出されると、電子メールアプリケーションの画面の表示を維持した状態でメモ帳アプリケーションを起動させるためのアイコンＡ１をカーソル等により選択させる（画面Ｄ１４）。

[0074] 画面Ｄ１４において、制御部１７は、画面Ｄ１３において入力文字「防水ケータイ」が選択されている状態を継続し、かつ、選択されている入力文字「防水ケータイ」のみを表示部１１に表示させる。また、画面Ｄ１４において、制御部１７は、入力文字「防水ケータイ」が選択されている状態が継続している場合に、メモ帳アプリケーションを起動させず、メモ帳アプリケーションのアイコンＡ１を選択した状態を継続する。

[0075] 続いて、画面Ｄ１４において、制御部１７は、再度左方向に向かって振る操作がモーションセンサ１８により検出されると、アイコンＡ１に代えて複数のアプリケーションそれぞれに対応するアイコンのうち、メモ帳アプリケーションとは異なるブラウザアプリケーションに対応するブラウザアプリケーションのアイコンＡ２（第２の画像）を選択させる（画面Ｄ１５）。

[0076] より詳細には、制御部１７は、再度左方向に向かって振る操作がモーションセンサ１８により検出されると、アイコンＡ１からブラウザアプリケーション

ョンの起動に対応するブラウザアプリケーションのアイコンA 2に切り替わり、アイコンA 2を選択した状態を継続する（画面D 1 5）。

[0077] 画面D 1 5において、制御部1 7は、画面D 1 3において入力文字「防水ケータイ」が選択されている状態を継続し、かつ、選択されている入力文字「防水ケータイ」のみを表示部1 1に表示させる。また、画面D 1 5において、制御部1 7は、入力文字「防水ケータイ」が選択されている状態が継続している場合に、ブラウザアプリケーションを起動させず、ブラウザアプリケーションのアイコンA 2を選択させた状態を継続させてもよく、ブラウザアプリケーションを起動させて、ブラウザアプリケーションのアイコンA 2を選択させた状態を継続させてもよい。

[0078] 続いて、画面D 1 5において、制御部1 7は、ユーザの指による入力文字「防水ケータイ」に対する接触の解除が検出部1 2により検出されたこと、すなわち、検出部1 2によりユーザの指を表示部1 1の表面から離す操作（第2の操作）が検出された場合に、表示部1 1に表示されている入力文字「防水ケータイ」を、ブラウザアプリケーションの初期画面内の検索窓に入力させて、ブラウザアプリケーションを起動させる（画面D 1 6）。

[0079] また、画面D 1 5において、制御部1 7は、検出部1 2によりユーザの指を表示部1 1の表面から離す操作（第2の操作）が検出されたことに代えて、操作が検出されない状態が所定時間以上継続した場合に、表示部1 1に表示されている入力文字「防水ケータイ」を、ブラウザアプリケーションの初期画面内の検索窓に入力させて、ブラウザアプリケーションを起動させてもよい（画面D 1 6）。

[0080] 図7及び8は、図6に示す例の内部処理について示すフローチャートである。なお、文字入力可能なアプリケーションにより文字が表示部1 1に表示されていることを前提とする。

ステップS 2 1において、制御部1 7は、検出部1 2により表示部1 1に対するユーザの指による接触が検出されたか否かを判定する。接触が検出された場合（YES）には、ステップS 2 2へ進む。接触が検出されない場合

(NO) には、再度ステップS 2 1 の処理を繰り返す。

[0081] ステップS 2 2 において、制御部 1 7 は、検出部 1 2 により接触が検出された箇所にアイコンが表示されているか否かを判定する。接触が検出された箇所にアイコンが表示されている場合 (YES) には、ステップS 2 3 へ進む。接触が検出された箇所にアイコンが表示されていない場合 (NO) には、ステップS 2 4 へ進む。

[0082] ステップS 2 3 において、制御部 1 7 は、ステップS 2 2 において接触が検出された箇所に表示されているアイコンに対応付けられている機能を実行し、処理を終了する。

ステップS 2 4 において、制御部 1 7 は、長押しタイマーを起動して、時間の計測を開始する。

[0083] ステップS 2 5 において、制御部 1 7 は、検出部 1 2 により検出される表示部 1 1 に対する接触が一定時間継続したか否か、すなわち、長押しタイマーが満了したか否かを判定する。長押しタイマーが満了した場合 (YES) には、ステップS 2 6 へ進む。長押しタイマーが満了しない場合 (NO) には、再度ステップS 2 5 の処理を繰り返す。

[0084] ステップS 2 6 において、制御部 1 7 は、長押し検出フラグを「TRUE」に設定する。

ステップS 2 7 において、制御部 1 7 は、長押しタイマーを停止する。

ステップS 2 8 において、制御部 1 7 は、表示部 1 1 において長押しが検出された箇所に文字が表示されているか否かを判定する。文字が表示されている場合 (YES) には、ステップS 2 9 へ進む。文字が表示されていない場合 (NO) には、処理を終了する。

[0085] ステップS 2 9 において、制御部 1 7 は、文章単位 (又は単語単位、文字単位) で選択される文字を決定し、選択される文字を反転表示させる。

[0086] ステップS 3 0 において、制御部 1 7 は、モーションセンサ 1 8 により携帯電話機 1 の本体を振る操作が検出されたか否かを判定する。携帯電話機 1 の本体を振る操作が検出された場合 (YES) には、ステップS 3 1 へ進む

。携帯電話機 1 の本体を振る操作が検出されない場合（NO）には、再度ステップ S 3 0 の処理を繰り返す。なお、ステップ S 3 0 において、制御部 1 7 は、携帯電話機 1 の本体を振る操作に代えて、モーションセンサ 1 8 及び操作部 1 9 により操作が検出されない状態が所定期間以上継続した場合を条件としてもよい。

[0087] ステップ S 3 1 において、制御部 1 7 は、文字を編集するアプリケーション A が起動中であるか否かを判定する。アプリケーション A が起動中である場合（YES）には、ステップ S 3 3 へ進む。アプリケーション A が起動中でない場合（NO）には、ステップ S 3 2 へ進む。

[0088] ステップ S 3 2 において、制御部 1 7 は、記憶部 1 6 に記憶されているアプリケーション A を起動させる。

ステップ S 3 3 において、制御部 1 7 は、携帯電話機 1 の本体が振られた方向がいずれの方向に向かって振られたか判定する。左方向に向かって振られた場合には、ステップ S 3 4 へ進む。右方向に向かって振られた場合には、ステップ S 3 5 へ進む。左又は右方向以外の方向に向かって振られた場合には、処理を終了する。

[0089] ステップ S 3 4 において、制御部 1 7 は、表示部 1 1 に表示させるアプリケーションのアイコンを選択する。ここで、制御部 1 7 は、携帯電話機 1 の本体が左方向に向かって振られることがモーションセンサ 1 8 により検出されるごとに、初期画面（待ち受け画面）→メモ帳アプリケーションのアイコン A 1 →ブラウザアプリケーションのアイコン A 2 →スケジュールアプリケーションのアイコン A 3 →電子メールアプリケーションのアイコン A 4 →初期画面（待ち受け画面）・・・の順序で選択させるアプリケーションのアイコンを切り替える。

[0090] ステップ S 3 5 において、制御部 1 7 は、表示部 1 1 に表示させるアプリケーションのアイコンを選択する。ここで、制御部 1 7 は、携帯電話機 1 の本体が右方向に向かって振られることがモーションセンサ 1 8 により検出されるごとに、初期画面（待ち受け画面）→電子メールアプリケーションの A

アイコン A 4 → スケジュールアプリケーションのアイコン A 3 → ブラウザアプリケーションのアイコン A 2 → メモ帳アプリケーションのアイコン A 1 → 初期画面（待ち受け画面）・・・の順序、つまり、ステップ S 3 4 とは反対の順序で選択させるアプリケーションのアイコンを切り替える。

[0091] ステップ S 3 6 において、制御部 1 7 は、ステップ S 3 4 又はステップ S 3 5 において選択されたアプリケーションのアイコンをカーソル等により選択させる（図 6 の画面 D 1 5）。

ステップ S 3 7 において、制御部 1 7 は、検出部 1 2 によりユーザの指を表示部 1 1 の表面から離す操作（接触を解除する操作）が検出されたか否かを判定する。接触を解除する操作が検出された場合（YES）には、ステップ S 3 8 へ進む。接触を解除する操作が検出されない場合（NO）には、再度ステップ S 3 7 の処理を繰り返す。

[0092] ステップ S 3 8 において、制御部 1 7 は、長押し検出フラグを「FALSE」に設定する。

ステップ S 3 9 において、制御部 1 7 は、表示部 1 1 に表示されている入力文字を、選択されたアイコンに対応付けられているアプリケーションの初期画面内に入力させて、アプリケーションを起動させる（図 6 の画面 D 1 6）。

[0093] <第 3 実施形態>

第 3 実施形態に係る携帯電話機 1 は、表示部 1 1 に待ち受け画面が表示された状態において、操作部 1 9 が操作されると、当該操作部 1 9 に割り当てられる文字及び数字をそれぞれ入力して表示部 1 1 に表示させる点が第 1 実施形態とは異なる。

[0094] 図 9 は、第 3 実施形態に係る表示部 1 1 に表示される画面遷移例を示す図である。

制御部 1 7 は、表示部 1 1 に待ち受け画面（画面 D 2 1）が表示されている状態において、操作部 1 9 を構成する操作キーのうちいずれかの操作キーが操作された場合に、当該操作キーに割り当てられている数字及び文字を共

に入力させて、表示部 11 に表示させる。

[0095] 制御部 17 は、初期画面としての待ち受け画面 D 2 1 が表示されている状態において、操作部 19 を構成する操作キーのうちいずれかの操作キーが操作された場合に、入力される文字を編集するアプリケーション A を起動する処理を行い、アプリケーション A によって操作キーに割り当てられている数字「6 6 6 6 6 * 1 1 1 3 3 3 1 1」を領域 R 3 に表示（入力）させ、当該操作キーに割り当てられている文字「ぼうすい」を領域 R 1 に表示（入力）させる。また、制御部 17 は、入力文字「ぼうすい」の変換候補「防水」及び「ぼうすい」を領域 R 2 に表示させる（画面 D 2 2）。

[0096] なお、制御部 17 は、初期画面として待ち受け画面 D 2 1 が表示された状態において、操作キーの操作により入力文字「ぼうすい」が入力されると、操作キーに割り当てられる文字「ぼうすい」のみを入力させて表示部 11 の領域 R 1 に表示させてもよい。また、表示部 11 の上段に表示される領域 R 1 は、主に文字を表示させる領域であり、表示部 11 の中断に表示される領域 R 2 は、主に変換候補を表示させる領域であり、表示部 11 の下段に表示される領域 R 3 は、主に数字を表示させる領域である。

[0097] 画面 D 2 2 において、表示されている文字及び数字のうち「ぼうすい」が選択されたことに応じて、入力文字「ぼうすい」が選択される。表示部 11 において選択された文字は、反転表示される（画面 D 2 2）。

[0098] また、制御部 17 は、入力文字「ぼうすい」が選択されたことに応じて、入力された文字を編集するアプリケーション A を起動する処理を行う。

[0099] 画面 D 2 2 において、制御部 17 は、携帯電話機 1 の本体を、表示部 11 を正面から見た場合における左方向に向かって振る操作（第 1 の操作）がモーションセンサ 18 により検出されると、記憶部 16 に記憶されている複数のアプリケーション（複数の機能）のうちメモ帳アプリケーション（第 1 の機能）に対応するメモ帳アプリケーションの画面（第 1 の画像）を表示させる（画面 D 2 3 及び D 2 4）。

[0100] より詳細には、制御部 17 は、携帯電話機 1 の本体を左方向に向かって振

る操作がモーションセンサ 18 により検出されると、文字、数字及び変換候補が表示される画面からメモ帳アプリケーションの起動に対応するメモ帳アプリケーションの初期画面に切り替わり（画面 D 2 3）、メモ帳アプリケーションの初期画面を表示部 11 に表示させる（画面 D 2 4）。

[0101] 画面 D 2 4 において、制御部 17 は、画面 D 2 2 において入力文字「ぼうすい」が選択されている状態を継続し、かつ、選択されている入力文字「ぼうすい」のみを表示部 11 に表示させる。また、画面 D 2 4 において、制御部 17 は、入力文字「ぼうすい」が選択されている状態が継続している場合に、メモ帳アプリケーションを起動させず、メモ帳アプリケーションの初期画面のみを表示部 11 に表示させる。

[0102] 続いて、画面 D 2 4 において、制御部 17 は、再度左方向に向かって振る操作がモーションセンサ 18 により検出されると、メモ帳アプリケーションの初期画面に代えて複数のアプリケーションのうち、メモ帳アプリケーションとは異なるブラウザアプリケーションに対応するブラウザアプリケーションの初期画面（第 2 の画像）を表示させる（画面 D 2 5）。

[0103] より詳細には、制御部 17 は、再度左方向に向かって振る操作がモーションセンサ 18 により検出されると、メモ帳アプリケーションの初期画面からブラウザアプリケーションの起動に対応するブラウザアプリケーションの初期画面に切り替わり、ブラウザアプリケーションの初期画面を表示部 11 に表示させる（画面 D 2 5）。

[0104] 画面 D 2 5 において、制御部 17 は、画面 D 2 2 において入力文字「ぼうすい」が選択されている状態を継続し、かつ、選択されている入力文字「ぼうすい」のみを表示部 11 に表示させる。また、画面 D 2 5 において、制御部 17 は、入力文字「ぼうすい」が選択されている状態が継続している場合に、ブラウザアプリケーションを起動させず、ブラウザアプリケーションの初期画面のみを表示部 11 に表示させてもよく、ブラウザアプリケーションを起動させて、ブラウザアプリケーションの初期画面を表示部 11 に表示させてもよい。

- [0105] 続いて、画面D25において、制御部17は、操作部19を構成する決定キーが操作された場合に、表示部11に表示されている入力文字「ぼうすい」を、ブラウザアプリケーションの初期画面内の検索窓に入力させて、ブラウザアプリケーションを起動させる（画面D26）。
- [0106] このように、第3実施形態によれば、携帯電話機1は、待ち受け画面からメモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションの初期画面に切り替えて、表示部11に入力された文字をメモ帳アプリケーション又はブラウザアプリケーションに入力させた状態で起動させることができる。したがって、携帯電話機1は、表示部11に入力された文字を所望の機能を実行するアプリケーションにおいて容易に利用することができる。
- [0107] また、図9の例では、制御部17は、領域R1に入力された文字を所望の機能を実行するアプリケーションに利用したが、領域R1に入力される文字及び領域R3に入力される数字に基づいて、ユーザが文字又は数字を入力しているのか判定し、判定結果に応じてアプリケーションの初期画面を切り替える順序を変更してもよい。
- [0108] 例えば、制御部17は、領域R1に入力された文字が記憶部16の辞書データベースに記憶されている文字と一致する場合には、ユーザが文字を入力していると判定し、携帯電話機1の本体を左方向に向かって振る操作がモーションセンサ18により検出されると、主に文字を用いるアプリケーション（例えば、メモ帳アプリケーション）の初期画面に切り替える。
- [0109] 一方、制御部17は、領域R1に入力された文字が記憶部16の辞書データベースに記憶されている文字と一致しない場合には、ユーザが数字を入力していると判定し、携帯電話機1の本体を左方向に向かって振る操作がモーションセンサ18により検出されると、主に数字を用いるアプリケーション（例えば、電卓アプリケーション）の初期画面に切り替える。これにより、携帯電話機1は、ユーザが文字を入力しているか数字を入力しているかを判定して、その判定結果に応じてアプリケーションの初期画面を切り替える順序を変更するため、操作性をさらに向上させることができる。また、入力さ

れた文字又は数字のいずれかをを用いるかユーザがカーソル等により選択してもよい。

[0110] 図10は、図9に示す例の内部処理について示すフローチャートである。なお、待ち受け画面が表示部11に表示されていることを前提とする。

ステップS40において、制御部17は、モーションセンサ18により携帯電話機1の本体を振る操作が検出されたか否かを判定する。携帯電話機1の本体を振る操作が検出された場合（YES）には、ステップS41へ進む。携帯電話機1の本体を振る操作が検出されない場合（NO）には、再度ステップS40の処理を繰り返す。なお、ステップS40において、制御部17は、携帯電話機1の本体を振る操作に代えて、モーションセンサ18及び操作部19により操作が検出されない状態が所定期間以上継続した場合を条件としてもよい。

[0111] ステップS41において、制御部17は、文字を編集するアプリケーションAが起動中であるか否かを判定する。アプリケーションAが起動中である場合（YES）には、ステップS43へ進む。アプリケーションAが起動中でない場合（NO）には、ステップS42へ進む。

[0112] ステップS42において、制御部17は、記憶部16に記憶されているアプリケーションAを起動させる。

ステップS43において、制御部17は、携帯電話機1の本体が振られた方向がいずれの方向に向かって振られたか判定する。左方向に向かって振られた場合には、ステップS44へ進む。右方向に向かって振られた場合には、ステップS45へ進む。左又は右方向以外の方向に向かって振られた場合には、処理を終了する。

[0113] ステップS44において、制御部17は、表示部11に表示させるアプリケーションの初期画面を選択する。ここで、制御部17は、携帯電話機1の本体が左方向に向かって振られることがモーションセンサ18により検出されるごとに、初期画面（待ち受け画面）→メモ帳アプリケーション→ブラウザアプリケーション→スケジュールアプリケーション→電子メールアプリケ

ーション→初期画面（待ち受け画面）・・・の順序で表示部１１に表示させるアプリケーションの初期画面を切り替える。

[0114] ステップＳ４５において、制御部１７は、表示部１１に表示させるアプリケーションの初期画面を選択する。ここで、制御部１７は、携帯電話機１の本体が右方向に向かって振られることがモーションセンサ１８により検出されるごとに、初期画面（待ち受け画面）→電子メールアプリケーション→スケジュールアプリケーション→ブラウザアプリケーション→メモ帳アプリケーション→初期画面（待ち受け画面）・・・の順序、つまり、ステップＳ４４とは反対の順序で表示部１１に表示させるアプリケーションの初期画面を切り替える。

[0115] ステップＳ４６において、制御部１７は、ステップＳ４４又はステップＳ４５において選択されたアプリケーションの初期画面を表示部１１に表示させる（図９の画面Ｄ２４又はＤ２５）。

ステップＳ４７において、制御部１７は、操作部１９を構成する決定キーが操作されたか否かを判定する。決定キーが操作された場合（ＹＥＳ）には、ステップＳ４８へ進む。決定キーが操作されない場合（ＮＯ）には、再度ステップＳ４７の処理を繰り返す。

[0116] ステップＳ４８において、制御部１７は、表示部１１に表示されている入力文字を、選択されたアプリケーションの初期画面内に入力させて、選択されたアプリケーションを起動させる（図９の画面Ｄ２６）。

[0117] 以上、本発明の実施形態について説明したが、本発明は上述した実施形態に制限されるものではなく、適宜変更が可能である。

また、上述した実施形態において、電子機器としての携帯電話機１について説明したが、他の電子機器にも適用可能である。例えば、本発明の電子機器は、デジタルカメラ、ＰＨＳ（登録商標；Personal Handy phone System）、ＰＤＡ（Personal Digital Assistant）、ポータブルナビゲーション装置、パソコン、ノートパソコン、携帯ゲーム装置等であってもよい。

符号の説明

- [0118] 1 携帯電話機（電子機器）
- 1 0 タッチパネル（操作部）
- 1 1 表示部
- 1 2 検出部
- 1 7 制御部

請求の範囲

[請求項1] 文字入力可能な複数の機能それぞれに対応する画像を表示する表示部と、

前記複数の機能のうち第1の機能に対応する第1の画像が表示又は選択された状態で第1の操作が検出されると、前記第1の画像に代えて前記複数の機能のうち前記第1の機能とは異なる第2の機能に対応する第2の画像を表示又は選択させる制御部と、を備え、

前記制御部は、前記第2の画像が表示又は選択された状態において、前記第1の操作とは異なる第2の操作が検出される、又は操作が検出されない状態が所定時間以上継続した場合に、入力文字を入力させた状態で前記第2の機能を起動させる電子機器。

[請求項2] 操作部をさらに備え、

前記入力文字は、前記第1の画像が表示又は選択される直前に前記表示部に表示された文字である請求項1に記載の電子機器。

[請求項3] 前記制御部は、

前記第1の画像として前記第1の機能の起動に対応する第1の画面が前記表示部に表示された状態で前記第1の操作が検出されると、前記第2の画像として前記第2の機能の起動に対応する第2の画面を前記表示部に表示させ、

前記第2の画面が表示された状態において、前記第2の操作が検出される、又は操作が検出されない状態が前記所定時間以上継続した場合に、前記入力文字を入力させた状態で前記第2の機能を起動させる請求項1に記載の電子機器。

[請求項4] 前記制御部は、

前記第1の画像として前記第1の機能を起動させるための第1のアイコンが選択された状態で前記第1の操作が検出されると、前記第2の画像として前記第2の機能を起動させるための第2のアイコンを選択させ、

前記第 2 のアイコンが選択された状態において、前記第 2 の操作が検出される、又は操作が検出されない状態が前記所定時間以上継続した場合に、前記入力文字を入力させた状態で前記第 2 の機能を起動させる請求項 1 に記載の電子機器。

[請求項 5] 前記制御部は、

前記第 2 の画像が表示又は選択された状態において、前記第 2 の操作が検出される、又は操作が検出されない状態が前記所定時間以上継続した場合にのみ、前記第 2 の機能を起動させる請求項 1 に記載の電子機器。

[請求項 6] 前記第 1 の操作は、電子機器本体を所定方向に向かって振る操作であり、

前記制御部は、前記電子機器本体が振られた方向に応じて、前記第 1 の画像及び前記第 2 の画像を前記表示部に表示させる順序を変更させる請求項 1 に記載の電子機器。

[請求項 7] 前記第 1 の操作は、前記表示部を摺動する操作であり、

前記制御部は、前記表示部が摺動された方向に応じて、前記第 1 の画像及び前記第 2 の画像を前記表示部に表示させる順序を変更させる請求項 1 に記載の電子機器。

[請求項 8] 前記操作部は、一のキーに対して文字及び数字が割り当てられている複数の操作キーを備え、

前記制御部は、前記表示部に待ち受け画面が表示された状態において、前記複数の操作キーのうちいずれかの操作キーが操作されると、当該操作キーに割り当てられる前記文字及び前記数字をそれぞれ入力して前記表示部に表示させ、表示させた前記文字又は前記数字のいずれを前記入力文字として入力させるかに応じて、前記第 1 の画像及び前記第 2 の画像を前記表示部に表示させる順序を変更させる請求項 2 に記載の電子機器。

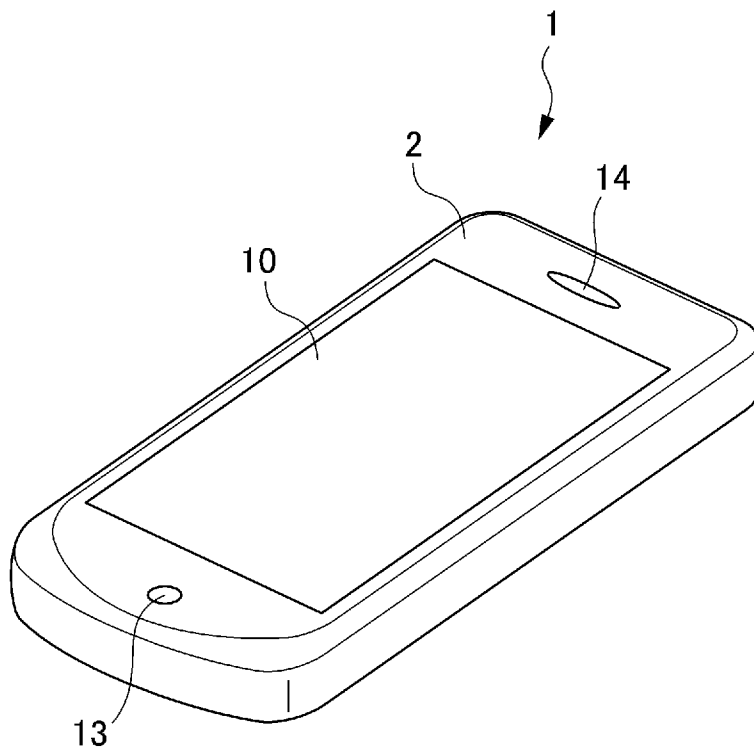
[請求項 9] 複数の機能のうち第 1 の機能に対応する第 1 の画像を表示又は選択

させるステップと、

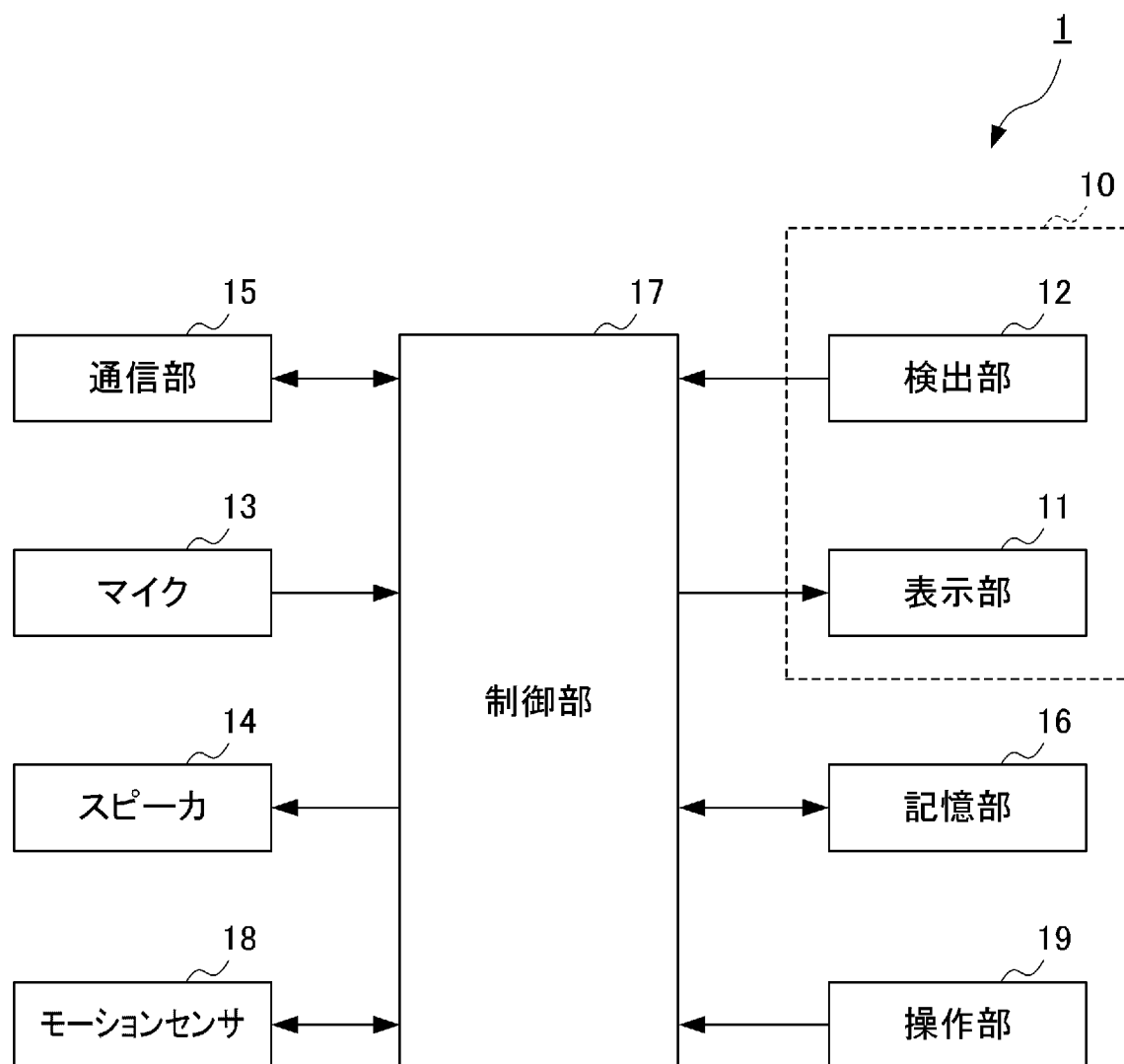
第 1 の操作が検出されると、前記第 1 の画像に代えて前記複数の機能のうち前記第 1 の機能とは異なる第 2 の機能に対応する第 2 の画像を表示又は選択させるステップと、

前記第 2 の画像が表示又は選択された状態において、前記第 1 の操作とは異なる第 2 の操作が検出される、又は操作が検出されない状態が所定時間以上継続した場合に、入力文字を入力させた状態で前記第 2 の機能を起動させるステップとを備える電子機器の制御方法。

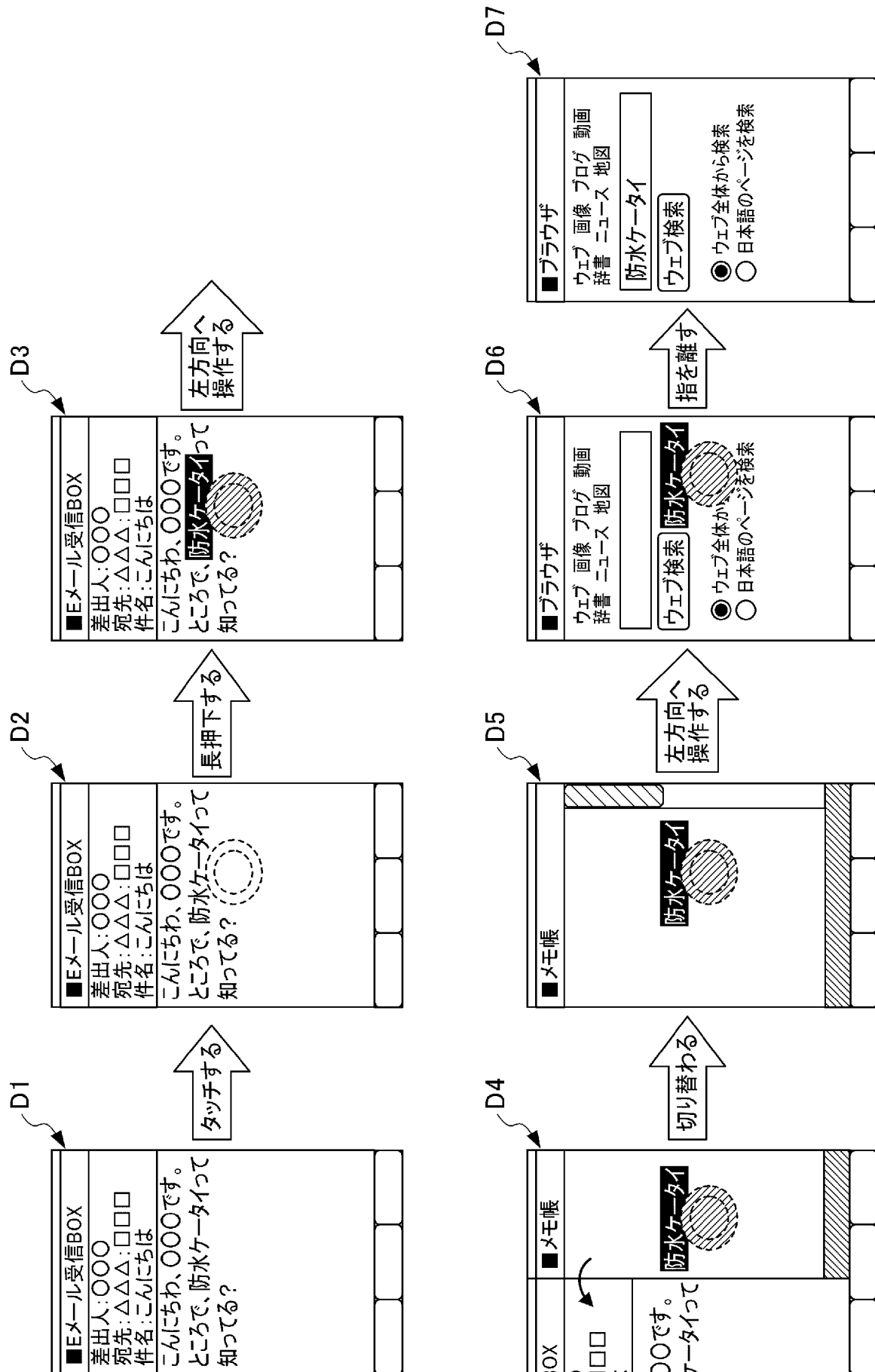
[図1]



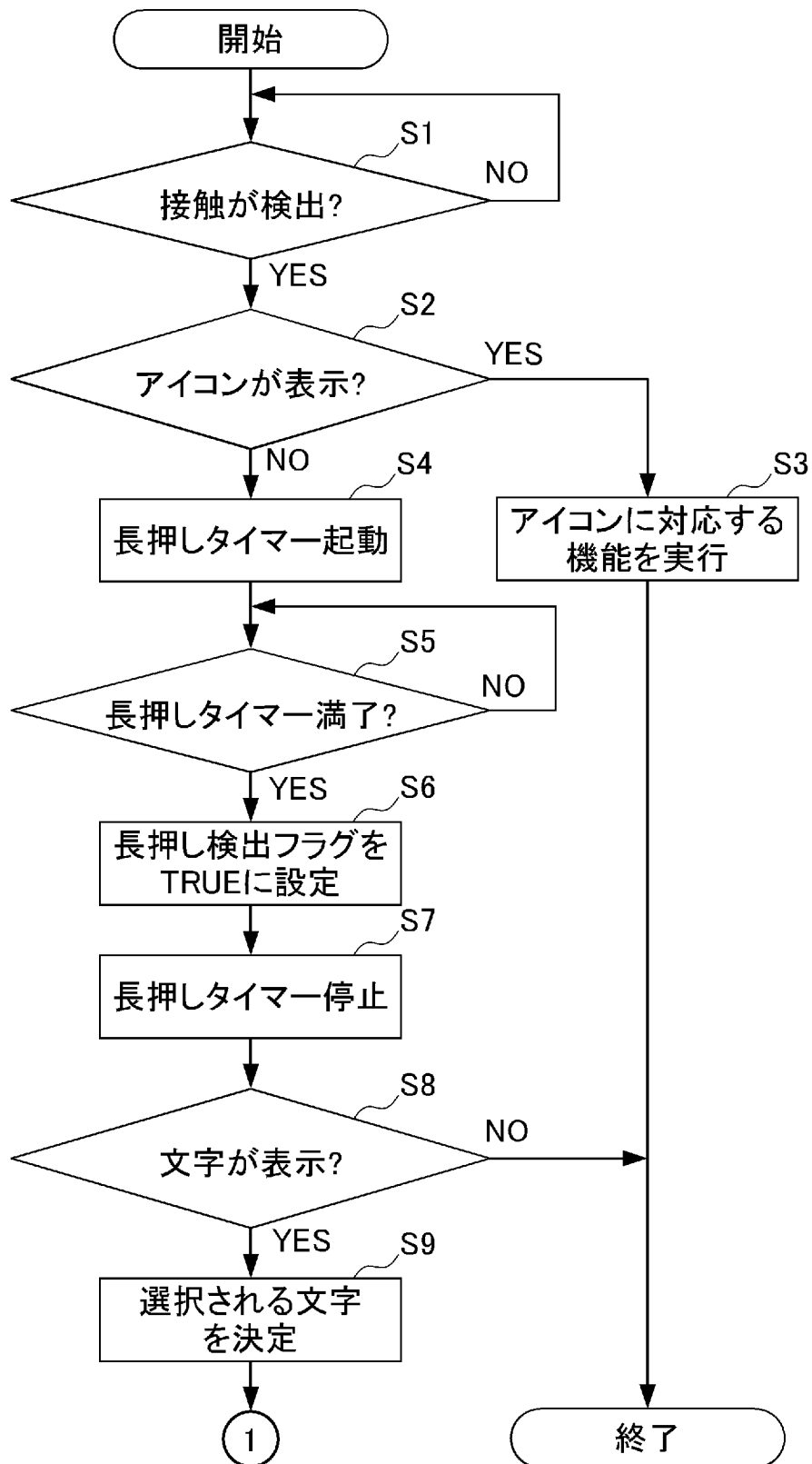
[図2]



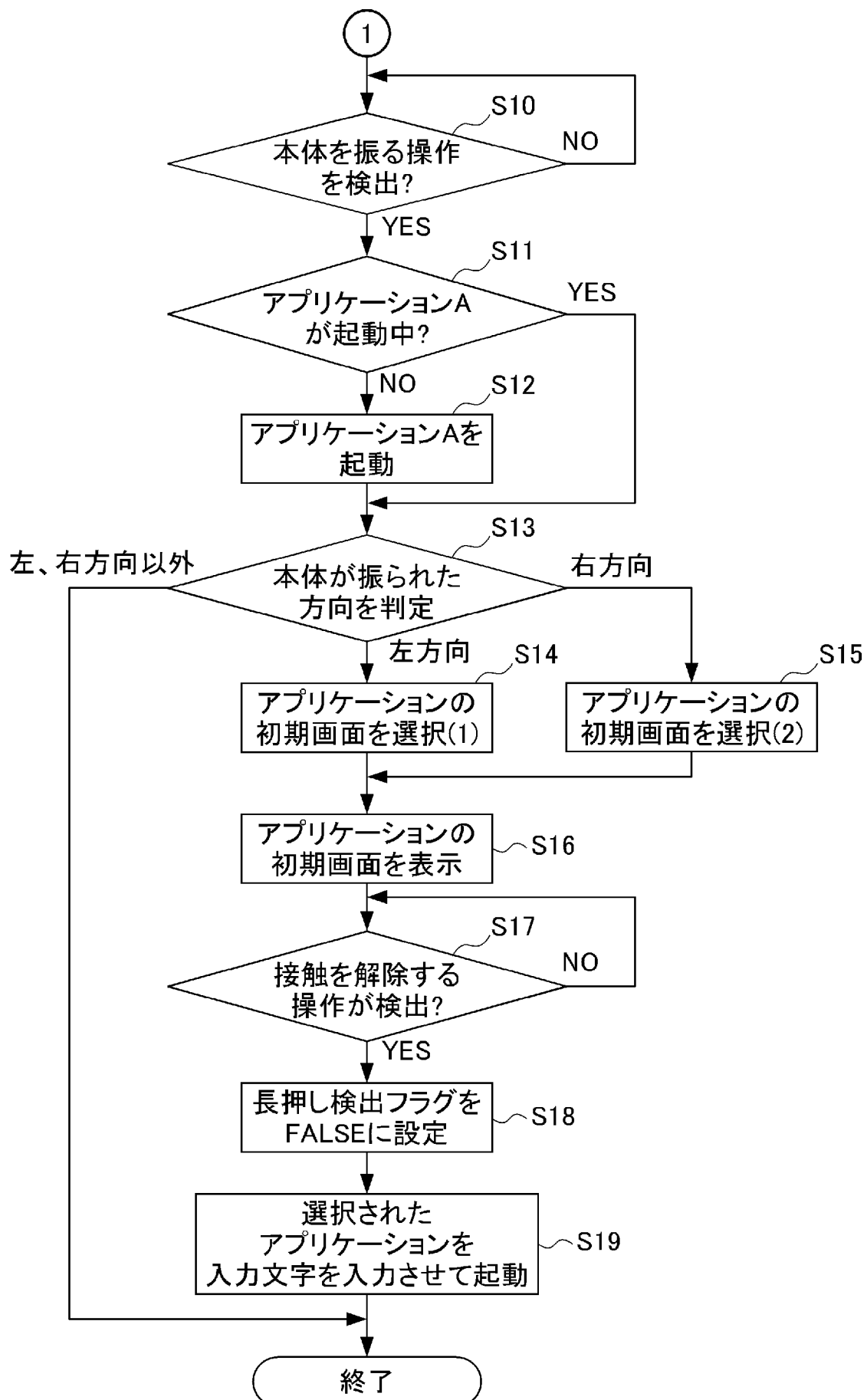
[図3]



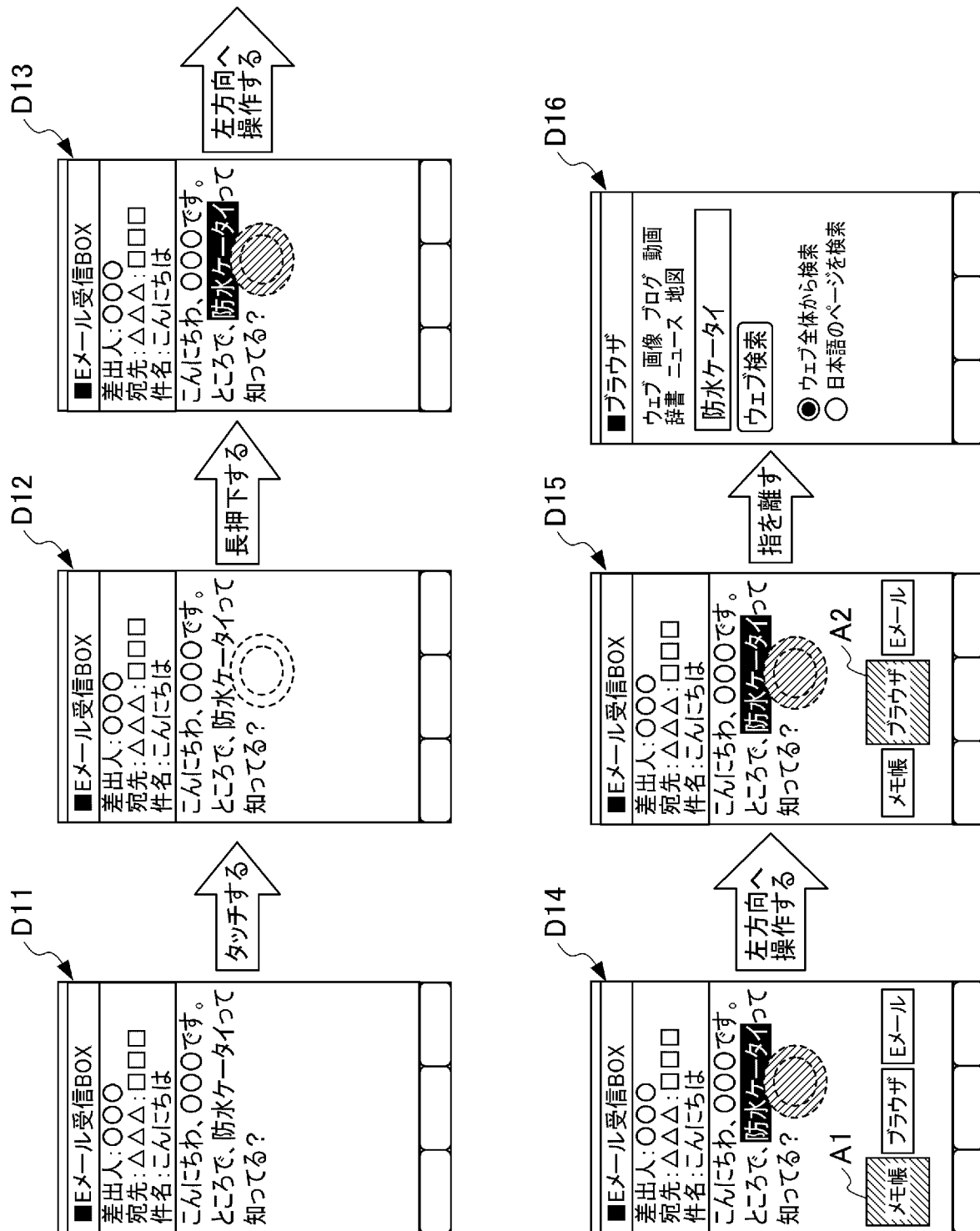
[図4]



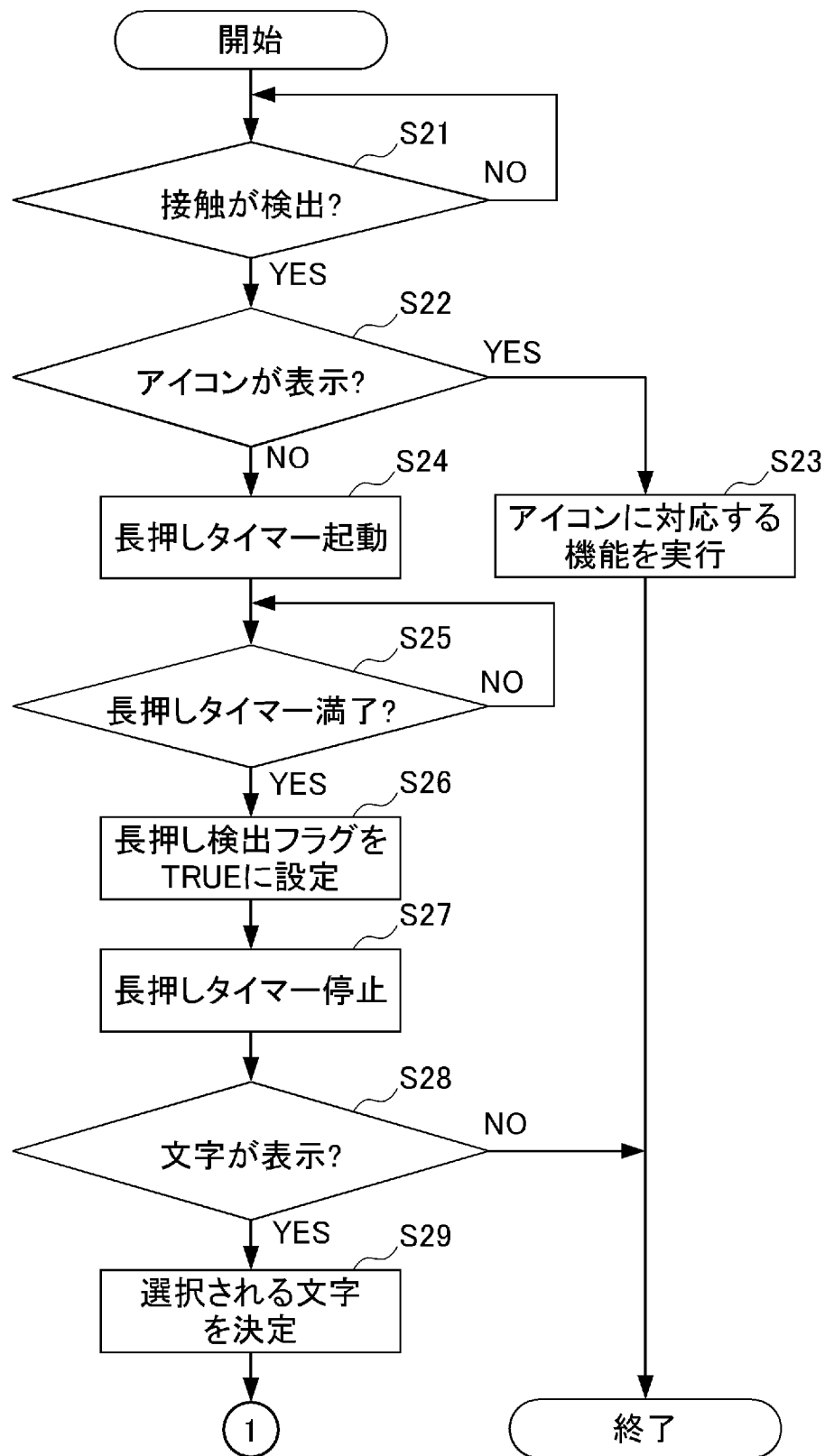
[図5]



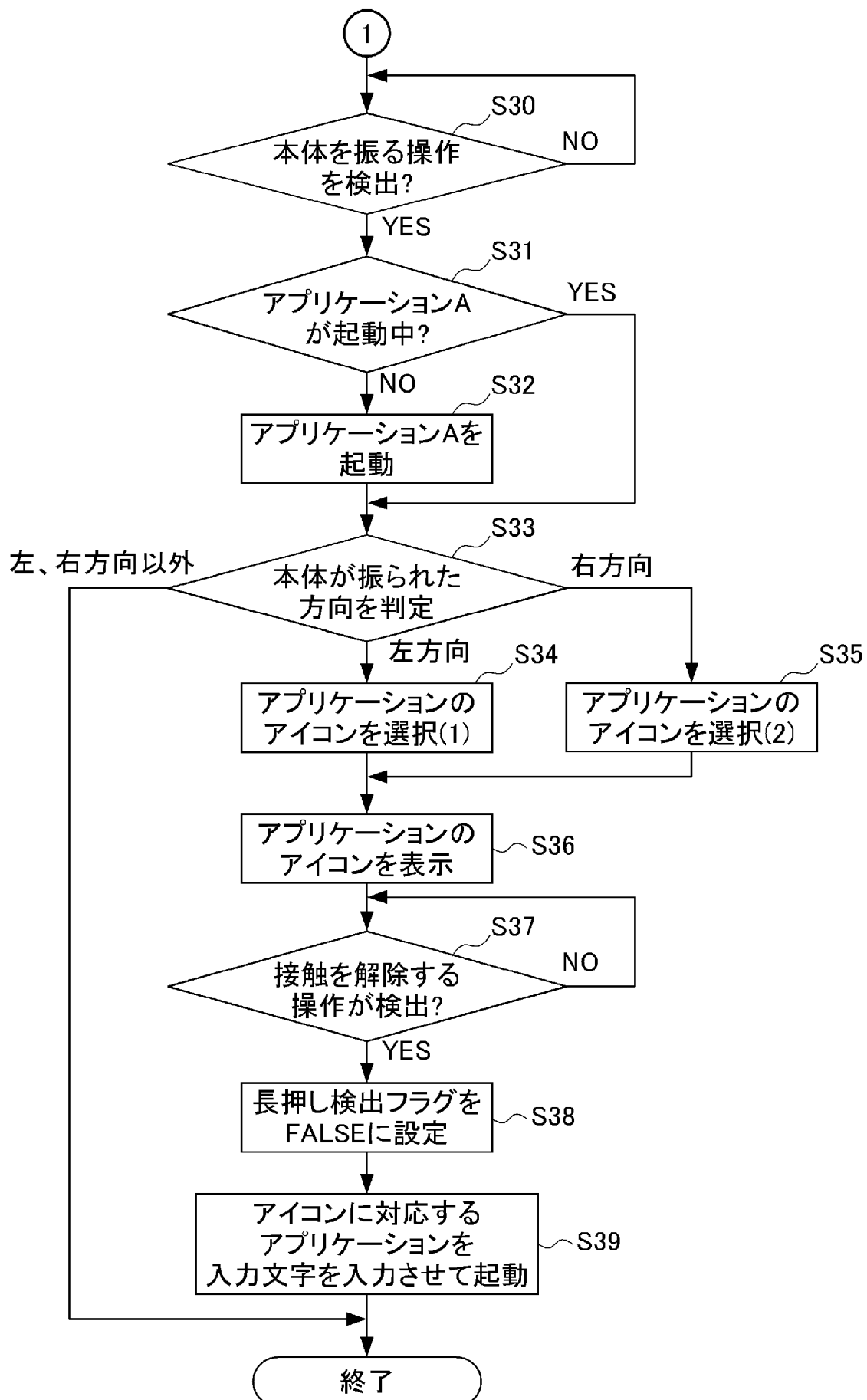
[図6]



[図7]



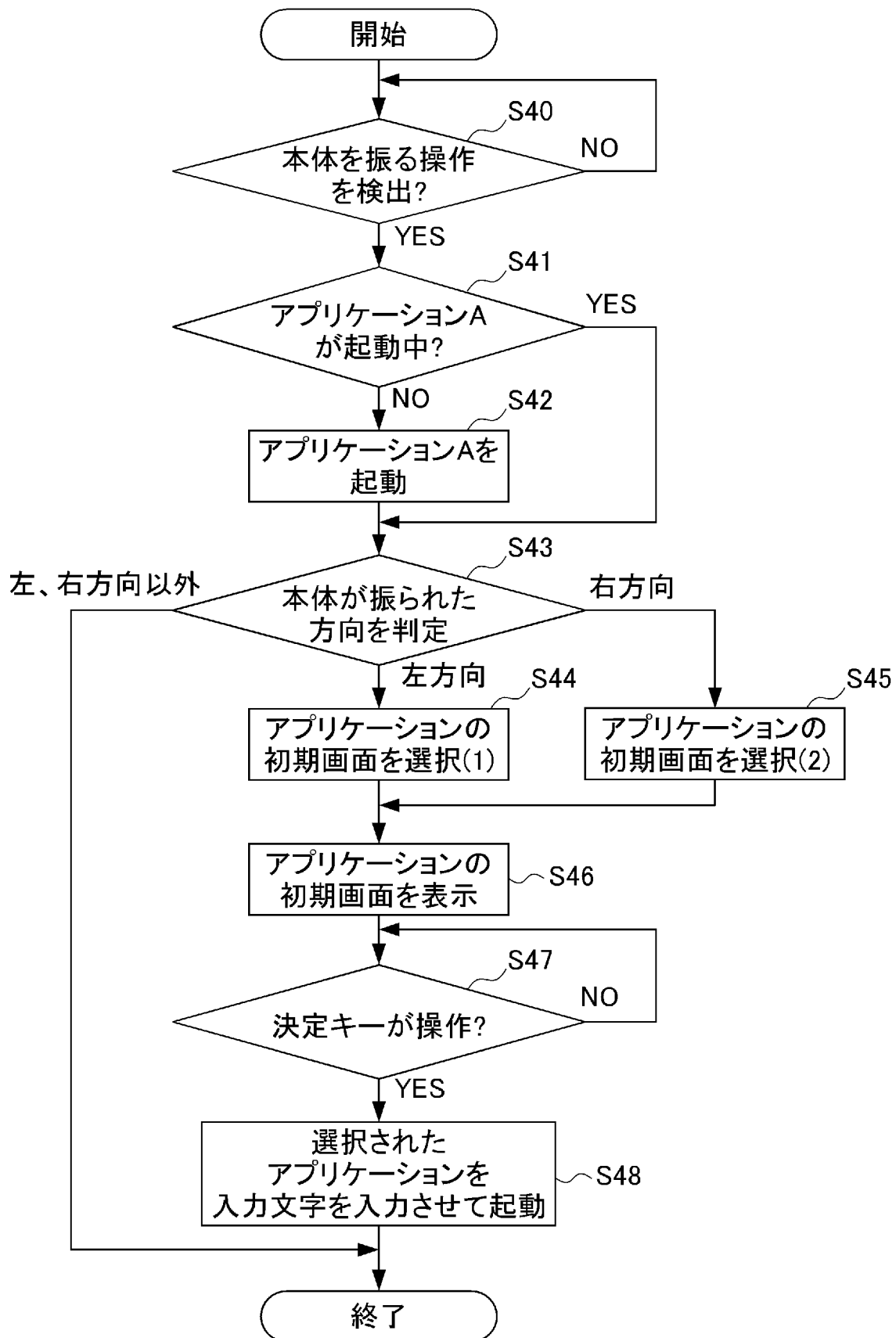
[図8]



[図9]



[図10]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2011/068119

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G06F3/048(2006.01)i, G06F3/023(2006.01)i, G06F3/041(2006.01)i, H03M11/04(2006.01)i, H04M1/00(2006.01)i, H04M1/247(2006.01)i, H04M1/725(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06F3/048, G06F3/023, G06F3/041, H03M11/04, H04M1/00, H04M1/247, H04M1/725

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2011
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2011	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2011

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP 2007-200243 A (Kyocera Corp.), 09 August 2007 (09.08.2007), paragraphs [0020] to [0050]; fig. 1 to 14 (Family: none)	1, 2, 4, 5, 8, 9 3, 6, 7
Y A	JP 2003-348273 A (Canon Inc.), 05 December 2003 (05.12.2003), paragraph [0012]; fig. 4 (Family: none)	3 1, 2, 4-9
Y A	JP 2002-330210 A (NEC Saitama, Ltd.), 15 November 2002 (15.11.2002), paragraphs [0034], [0079]; fig. 4 (Family: none)	6 1-5, 7-9

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
11 October, 2011 (11.10.11)

Date of mailing of the international search report
25 October, 2011 (25.10.11)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2011/068119

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y A	JP 2005-339420 A (Sony Corp.), 08 December 2005 (08.12.2005), paragraphs [0102] to [0107]; fig. 19 & US 2005/0267676 A1 & EP 1607850 A2 & CN 1704886 A	7 1-6, 8, 9

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. G06F3/048(2006.01)i, G06F3/023(2006.01)i, G06F3/041(2006.01)i, H03M11/04(2006.01)i,
H04M1/00(2006.01)i, H04M1/247(2006.01)i, H04M1/725(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. G06F3/048, G06F3/023, G06F3/041, H03M11/04, H04M1/00, H04M1/247, H04M1/725

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 1 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 1 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 1 年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X Y	JP 2007-200243 A (京セラ株式会社) 2007.08.09, 段落【0020】 - 【0050】, 【図1】 - 【図14】 (ファミリーなし)	1, 2, 4, 5, 8, 9 3, 6, 7
Y A	JP 2003-348273 A (キヤノン株式会社) 2003.12.05, 段落【0012】 【図4】 (ファミリーなし)	3 1, 2, 4-9
Y A	JP 2002-330210 A (埼玉日本電気株式会社) 2002.11.15, 段落【0034】 【0079】, 【図4】 (ファミリーなし)	6 1-5, 7-9

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。

☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

1 1 . 1 0 . 2 0 1 1

国際調査報告の発送日

2 5 . 1 0 . 2 0 1 1

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (I S A / J P)

郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

岩橋 龍太郎

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 5 2 1

5 E

3 7 9 0

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y A	JP 2005-339420 A (ソニー株式会社) 2005.12.08, 段落【0102】 －【0107】、【図19】 & US 2005/0267676 A1 & EP 1607850 A2 & CN 1704886 A	7 1-6, 8, 9